

令和2年第17回（臨時）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和2年8月6日午前9時45分

場所

高砂市役所南庁舎5階大会議室

出席者

山名委員、吉田委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、赤松学校教育室長、北野教育推進室教育総務課長
矢野学校教育室学校教育課長、横山学校教育室学校教育課主幹

本日の会議に付した事件

議案

- 1 令和3年度使用義務教育学校教科用図書の採択について

○教育長代理 令和2年第17回臨時高砂市教育委員会を開会いたします。

本日、教育長が欠席のため、私が職務を代理いたします。

傍聴の申出がありましたので、高砂市教育委員会会議規則の第12条第1項により傍聴を許可します。ただし、地方行法の第14条第7項ただし書により、人事に関する事件その他の事件について、教育長または議員の発議により出席者の3分の2以上の多数で議決したときは非公開とあります。

選定委員会の独自性を確保するため、選定委員会会長の報告については、非公開としたいと考えます。非公開とすることに賛成の方、挙手をお願いします。

(「賛成者挙手」(出席者全員一致))

賛成多数により、選定委員会会長の報告については非公開とします。

(非公開のため別途会議録作成)

議 事 議案1 令和3年度使用義務教育学校教科用図書の採択について

○教育長代理 令和3年度使用義務教育学校教科用図書の採択についてを議題といたします。事務局から今回の教科用図書の選定における仕組み、方向性等について説明してください。

○事務局 (教科用図書採択の選定における仕組み、方向性等について説明)

○教育長代理 今のことについてご質問ございませんか。教科書採択に当たっては、広く市民の意見を聞くことも重要だということで、今年度の教科書展示会の状況について、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局 (教科書展示会の状況について説明)

○教育長代理 ご質問等ございませんか。それでは協議に移りたいと思います。高砂市教科用図書選定委員会会長からご報告いただきました令和3年度使用義務教育学校教科用図書採択に関する選定報告等に基づいて採択をいたします。ご異議はございませんか。異議なしということですので、協議を進めてまいります。では、国語科の図書についてご意見ございましたらよろしく願いいたします。

○委員 国語科ですが、5つの観点、項目で比較検討させていただきました。まず、学習指導要領の中心指針である主体的・対話的で深い学びという部分。この部分ではそれぞれに様々な工夫や仕掛けがあって、これは甲乙つけ難い。ただ、どの教科書会社にしても、前回よりも主体的・対話的で深い学びに対する取組がより具体的になり、進歩しているなど感じました。次に、情報の扱いに関する内容ということで検討いたしました。光村さんが1学年から3学年まで思考のレッスンと情報処理のレッスンを通して系統的・多角的に学習できており、内

内容及び分量ともに最も充実しているなど思いました。3つ目ですが兵庫県の教育創造プランを踏まえた内容というのがチェックすべき項目だと思いました。上位2つは、光村さんが117内容、教育出版さんが115内容でした。あと兵庫県に関する内容、教材もチェックさせていただきました。光村さん、東京書籍さんが4教材あり一番多かったと思います。また、全体的なレイアウト、文字の大きさ等で見ますと、光村さんが見やすく読みやすい教科書かなと。最もいい点は、どの部分でもいろんなことが網羅されていて、問題点が少ない、扱いやすい教科書かなという感じを持ちました。以上のことから、今回の本市での教科書については、光村図書さんが最もふさわしい教科書ではないかと思いました。

○教育長代理 ほかにご意見ございませんか。それでは、国語科教科用図書について採決いたします。光村さんで異議はございませんでしょうか。

異議なしということで、国語科は光村図書に決定します。

次、書写についてご意見をお願いします。

○委員 一番大きな特色というのは、A B判とB 5判に分かれていたのですが、サイズが違うという点があるのですが、A B判を使っているのが東京書籍さんと教育出版さん。B 5判を使っているのが三省堂さんと光村さんということで、個人的には少し大きめのほうがいいかと。ただ、子供たちが持っていく教科書と資料等をできるだけ少なくしようという流れもある中で少し悩んだのですが、教科書として使うのなら少し大きい方がいいというのが私の判断です。次に多様な文字、効果的な文字という項目があるのですが、東京書籍さんと教育出版さんが多かったです。次に、資料関係の種類、教材数もチェックしたのですが、教育出版さんが特色あるなという感想を持ちました。次に、防災も含めまして兵庫県に関する内容ですが、三省堂さん以外は全部同じように入っています。最後に全体的な感想・印象で言いますと、教育出版さんが筆順や中心線を書かれていて、バランスなどの大切なことがうまく見えそう、書き込みができる箇所が多いと感じました。

以上、全体的に総合的な判断から、教育出版さんがふさわしいのではないかと感じています。

○教育長代理 ほかにございませんか。それでは、教育出版さんが一番いいのではないかといいことですが、異議ございませんでしょうか。異議なしということで、書写は教育出版に決定します。続きまして、社会の地理について、ご意見をお願いいたします。

○委員 地理に関しましては、それぞれの教科書全てにSDGsのことに對して記載があり、非常にいいことだと思います。帝国に関しては、それぞれの分野に関しての関連を、地理と公民と歴史、全部が連なった感じで、振り返りもあり、勉強のしやすさも見られてよかった。日本文教に関しても、見やすさ、QRコー

ドの対応や、いろいろ工夫がされていました。東書に関しては、工夫は十分あるのですが、ただ1つ難点として、時代のスピードについていけない教科書の内容があります。それぞれ、どの教科書も先細りなのが見られますが、ちょっと目立ったのが東書かなと思いました。他にも色々あるのですが、私は帝国が一番適当なところと判断しました。

○教育長代理 ほかにご意見ございませんか。それでは、社会、地理に関しては帝国さんということで、異議ありませんか。異議なしということで、社会の地理は帝国書院に決定します。それでは、社会の歴史についてお願いいたします。

○委員 歴史に関して、主たる観点として見たのは、日本史と世界史との対比がうまくできているかどうかを重点的に見ました。各社、色々工夫をされているのですが、その中で帝国が非常に分かりやすかった。近代国家、国際社会に対して記載が少ないということを感じましたが、情報量が非常に多かったというところは印象にあります。それと、学習の仕方に対しても色々明示されていて、教科書に基づいて勉強しやすいなと思いました。教育出版に関しては、記載項目が非常に多いのですが、説明量の差が非常にありました。また、主観的な要素、編集者の意向が入り過ぎているかなということを感じました。日本文教に関しても、直近の世界、あるいは日本に関する記載が少なく、記載が偏っているかなということもありました。山川さんに対しては、資料は分かりやすいのですけれども、全体としては難しい記載になっていました。歴史に関しましては、帝国が妥当かなと思っています。

○教育長代理 ほかにご意見ございませんか。それでは、採択させていただきます。社会、歴史に関しては、帝国さんのもので異議ございませんか。異議なしということで、社会の歴史は帝国書院に決定します。それでは、社会科、公民についてお願いいたします。

○委員 公民に関しましては、全てで日本国憲法や、その他各種法律のことに関してきちんと記載されており、興味を持って読む子がいれば、日本国憲法と法律のことを理解するに当たって非常にいいことだと思います。資料が十分にそれぞれそろっていますので、各社甲乙つけ難いのですけれども、淡路に関する記載、領土問題等、総合的に考えて、帝国書院が妥当かなと思います。

○教育長代理 ほかにご意見ございませんか。それでは、社会、公民に関しては帝国書院さんで、異議ございませんか。異議なしということで、社会科の公民は帝国書院に決定します。次は、社会の地図についてお願いいたします。

○委員 帝国書院に関しては非常に大きな地図で、その内容を見たときに非常に資料も豊富で、見やすく、見入ってしまうぐらいの構成をされているなと思いました。大判化しているけれども、それなりに軽量化を図られていることもあって、非常にいい教科書だなと思いました。東京書籍に関しても、A地点、B地点での断面図を取って、高低差がよく分かるようになっているし、特にオース

トラリアの高地での水のたまり方等、特殊な事が非常に分かりやすく、興味をそられるいい内容でした。ですが、2社を比較すると、やはり帝国書院のほうになりました。また、地理と歴史と公民が継続した一貫性を持ってするに当たっては、やはり出版社も1つのほうがいいのではないかと。期せずして全部同じになりましたけどそう思います。

○教育長代理 ほかにご意見ございませんか。それでは、帝国さんを選択することにご異議はございませんでしょうか。異議なしということで、社会の地図は帝国書院に決定します。続きまして、数学です。数学については、私から意見を言わせていただきたいと思います。どの教科書もとても興味深く、楽しく拝見させていただいたのですが、特に高砂市の場合、全国平均より家庭学習時間が少ないです。そのため、子供たちが家で勉強できる、興味を持っていただけたらという観点から選定しました。啓林館さんの教科書は、前から見ると、みんなで学ぼう、後ろから見ると、自分から学ぼう編になっています。家へ帰ったら、教科書を反対側から見て、自分でやってみようという気持ちになってくれたらと思います。それと、全体に文字もすごく見やすかったですし、説明も分かりやすかったです。ほかの出版社の分も、いろいろ特徴はあったのですが、最終的に啓林館のものが高砂市の子供たちにはいいかなと感じました。ほかにご意見はございませんか。それでは、数学に関しましては啓林館さんのもので異議はございませんでしょうか。異議なしということで、数学は啓林館に決定します。続きまして、理科についてご意見をお願いいたします。

○委員 理科については5社確認させてもらいました。科学の進歩、情報科学の技術等は非常に目覚ましい進歩がありまして、子供たちにはその最先端の技術に触れ合う機会がやはり多いと思います。知識としても不可欠だと思い、その辺りの観点を特にポイントとして見させてもらいました。物理分野、化学分野、生物分野、それぞれの分野で見えていって、物理分野については、非常によく書かれているのが東京書籍さん。化学分野については、説明がいいなと思ったのが啓林館さん。生物分野については、分かりやすく書いてあったのが啓林館さんです。総合評価で啓林館さんが最も優れていると評価をいたします。

○教育長代理 ほかにご意見はございませんか。それでは、啓林館さんの教科書で採決することに異議はございませんか。異議なしということで、理科は啓林館に決定します。次は音楽です。音楽一般に関しましては、私から意見を言わせていただきたいと思います。2社あり、2社ともこういう考え方で書きましたというのがとてもよく分かるいい教科書だと感じました。ただ、今回は教芸さんのほうかと思いました。それは、中学生が一番気にする変声期、これに関して詳しく書いてありました。それと、国歌に関する扱い方なのですが、両社とも丁寧にお書きいただいているのですが、特に教芸さんのものに関しては、国歌だけではなく、国旗であるとか、そういう国への意識というものについても述べてい

らっしゃいました。ほかにご意見はありませんか。それでは、音楽一般に関しては教芸さんのものを採択することで異議はございませんでしょうか。異議なしということで、音楽一般は教芸に決定します。

次は音楽の器楽です。これに関しましても私が意見を言わせていただきます。教芸さん、教育出版さん、両方とも内容がとても充実していて、写真もきれいですが、分かりやすさという意味では教芸さんのほうがいいかなと思いました。自分で楽器を弾いてみたいと思う子にとっては分かりやすいのではないかと印象を受けました。器楽と一般との整合性という意味でも、教芸さんがいいのではないかと感じました。ほかにご意見ございませんか。それでは採択いたします。音楽、器楽に関して、教芸さんのもので異議はございませんでしょうか。異議なしということで、音楽の器楽は教芸に決定します。次は、美術についてご意見をお願いいたします。

○委員 美術に関してですが、日文さんを推薦したいと思います。理由としては、主体的・対話的で深い学びに関しては、一番、量、内容ともに充実しているのが日文さんだと思います。また、ひょうご教育創造プランに関連した題材数も見たのですが、ここも日文さんが多く、兵庫県に合った教科書なのかなと感じました。また、日文さんは3冊になっていて、教材の冊数が増えれば、各内容は丁寧になります。重くもなるわけですが、丁寧な部分でそれを効果的に使っただけならなと思います。また、文字の大きさ、挿絵、写真の配置等が適切かなという気もいたしました。以上の理由で日文さんを推薦したいと思います。

○教育長代理 美術ですが、日文さんについて採択することにご異議はございませんでしょうか。異議なしということで、美術は日文に決定します。次は保健体育です。ご意見ございませんか。

○委員 主体的学び等の内容を見させていただいたところでは、東京書籍さん、大修館さんがいいかなと思い、ひょうご教育創造プランでは東京書籍さん、学研みらいさんがいいかなと思いました。内容の分量というところで、体育編と保健編というのがあるのですが、そのバランスから言うと、体育編では東京書籍さん、大日本図書さん、大修館さんが、また、保健編のほうで言えば、大日本図書さん、大修館さんがいいのかなと思いました。個別の分析では大修館さんと東京書籍さんが1、2かなという感じで、その2つに絞って検討させていただきました。その中で大きな違いというのは、まず1つは、東京書籍さんが保健分野からスタートしている。ほかは全部体育のほうからスタートしています。現場では保健というのは2年生ぐらいから学習が始まり、最初は体育から始まるというようなことから、使い勝手から言えば、体育編があつて保健編が後から来るのがいいのかなと思います。次に、東京書籍さんはQRコードがリンクを張っていて使いやすい。大修館さんは、学年ごとに色分けがしてあり、ダイアリー等を見るときに見やすい色分けで、使い勝手がいいなと思いました。また、

データ、グラフ、図式も数が多く、分かりやすい気がいたしました。総合的に、大修館さんでと思っております。

○教育長代理 ほかにご意見はございませんでしょうか。それでは、保健体育に関しましては、大修館さんのものに採択することにご異議はございませんでしょうか。異議なしということで、保健体育は大修館に決定します。

続きまして、技術・家庭の技術についてご意見よろしく申し上げます。

○委員 技術は3社ありまして、3社とも全て、非常に優れていまして、優劣がつけにくいというのが印象です。その中で総括的に考察しますと、技術の教科には現代社会をよくする単元と未来をよくする単元という、大きく分けて2つの単元がありまして、未来の生活をよくする単元について注目したい点がありましたので、コメントいたします。まず、エネルギー変換技術に関してなのですが、3社ともに発電の仕組みの内容についてはイラストを用いて分かりやすく説明がされていて、非常にいいなと思いました。通常、火力、原子力、太陽光、水力、地熱、バイオマス、それぞれの発電形式があるのですが、開隆堂さんはバイオマス発電の記載がなかったなというのが気になった点です。その他、情報技術のところでは、教育図書さんでスーパーコンピューターの京の活用について説明があったのはうれしい内容だなと思ったのですが、富嶽についての記載もあつたら、もっと印象がいいかなと思いました。全ての教科で情報デジタル化について力を入れているのがよく分かります。実用面として、また活用面として、日常生活でもよく使われているワードやエクセル等についての解説について、基本操作の資料が、東京書籍さん、開隆堂さん、それぞれついていたので、その辺りも評価的に高いと思います。全社とも非常にいい評価を得ているのですが、東京書籍さんのガイダンスが非常に充実していて、最新情報が記載されていて、問題解決のプロセスが分かりやすく、非常にいいという評価で、やはり全体的には東京書籍さんを推薦したいと思います。

○教育長代理 ほかにご意見ございませんか。それでは、技術・家庭の技術について、東京書籍さんのものを採択することにご異議はございませんか。異議なしということで、技術・家庭の技術は東京書籍に決定します。続きまして、技術・家庭の家庭についてお願いいたします。

○委員 家庭科については、3社の教科書ともに、文章表現、イラスト、写真をうまく活用して非常に分かりやすく作成されています。ほとんど差はないのですが、技術と家庭というところはどうしても共通に結びつくところが多くて、今回、技術で東京書籍さんの優れている点が目立っていましたので、家庭科に関しても同様に東京書籍さんを、技術とのつながり等を含めて推薦したいと思います。

○教育長代理 ほかにご意見はありますか。それでは、技術・家庭の家庭は東京書籍さんを採択するというご異議はございませんか。異議なしということ

で、技術・家庭の家庭は東京書籍に決定します。続きまして、外国語ですね。ご意見はございますか。

○委員 外国語、英語ですが、中学校の英語のレベルというのが、今まで以上に高くなっているなという感想を持ちました。小学校での英語授業というのがベースになって、そのレベルが上がってきているのだと思いますけれども、1年生の最初の教科書から授業である程度のレベルを踏まえた、期待されたところからの作成になっているという感があります。最終的には開隆堂さんの書籍が文章の内容的に、充実しているということで評価をしました。また、SDGs、その辺りの内容に関しても開隆堂さん、三省堂さんを含めてですけれども、非常によくできているということで、最終決定としては開隆堂さんを評価したいと思います。

○教育長代理 ほかにご意見はございませんでしょうか。それでは、外国語は開隆堂さんを採択するというご意見はございませんか。異議なしということで、外国語は開隆堂に決定します。最後は、道徳ですね。これに関しましては、私から言わせていただきます。どの教科書もとても読み物もすばらしくて感動的なものがたくさんありました。判断にとっても迷ったのですが、2点で判断をいたしました。1つは、ワークのノートについてです。ノートの題名にこれが正しい姿だと匂わすものはよくないのではないかと思います、その点を考慮させていただきました。もう1つは、高砂市の教育の中で、重点テーマの1つに特別教科、道徳の授業を様々な体験活動を通して人間としてよりよく生きるための心構えというようなことをうたっています。項目の中から踏まえて判断した結果、日文さんのものが一番それにマッチしていたと考えましたので、私は日文さんのものがいいと思いました。ほかにご意見はございませんでしょうか。それでは、特別の教科、道徳に関しましては、日文さんのものを採択するというご意見はございませんか。異議なしということで、特別の教科、道徳は日文に決定します。

以上で16種目の教科について採決をさせていただきました。もう1回確認をさせていただきます。

国語科が光村図書、書写が教育出版、社会の地理が帝国書院、社会の歴史が帝国書院、社会の公民が帝国書院、地図が帝国書院、数学が啓林館、理科が啓林館、音楽の一般が教育芸術社、音楽の器楽が教育芸術社、美術が日本文教出版、保健体育が大修館、技術・家庭の技術が東京書籍、技術・家庭の家庭が東京書籍、外国語・英語が開隆堂、特別の教科・道徳が日本文教出版。以上で採択をすることに決定します。

その他の教科用図書につきましては、事務局から説明をさせていただきます。お願いします。

○事務局 小学校の教科用図書につきましては、令和3年度は令和2年度、今年度と同一

の教科用図書を採択することとなっております。また、特別支援学級の教科用図書につきましては、文部科学省検定済み教科用図書、いわゆる教科書というものですけれども、その同学年本ですとか、下学年本と呼ばれています下の学年の教科書。また、文部科学省の著作本、そういったものを使用するという方向で、まずは検討をし、それが難しいようであれば、児童生徒の実態に応じて一般図書を採択することになっております。

○教育長代理 何かご意見、ご質問はございますか。それでは、以上をもちまして、令和3年度使用義務教育学校教科用図書の採択についての議題を終了いたします。

令和2年8月6日 午後0時18分 教育長職務代理者会議の閉会を宣告
